

一般質問通告書

2025年11月26日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 2番 松木 純子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は 1. 全項目一括質問一括答弁
 ② 項目ごとに一括質問一括答弁

| | |
|----------|---------------------------|
| (質問番号 2) | 透明性のある市政運営と納得いく市民説明と政策決定を |
|----------|---------------------------|

要旨（項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。）

いちご農園補助金未返還問題について、これまで新聞やニュースで何度も取り上げられ全国的に注目されることとなりました。高島市にとって未だかつてない大きな問題です。今年1月の選挙では市政の歪みを正すべく市民から大きな期待を受け今城市長が誕生し約半年以上が経過しましたが、市民の大切な血税である概算払いされた3億7375円は未だに返還されていない状況です。この大きな問題を風化させずに教訓とし、市民の皆様から信頼を得られる政策を実現する必要があると考えます。

次に前市政からの政策であった泰山寺で予定されている、新ごみ処理施設建設設計画については、周辺住民の合意と納得を得られないまま、予定地ありきで基本計画が進められてきたように思われ、未だに周辺地域に影響する道路網の確立が決定されていないと聞いています。

前市政からの政策であるマキノ小学校の統合と新築についても、10年以上前から地域の中では必要性が認識されていたにも関わらず、行政からの十分な情報提供や住民の声を反映した議論が行われていなかったように感じています。昨年いきなり統合と新

築をセットで提案された際には地域住民から多くの疑問や不安の声が届きました。もう少し丁寧な周知や説明が必要であったと思うところでもあります。

今城市長は所信表明で、「情報公開の徹底による、クリーンで信頼できる、市民に向いた市政の実現を目指す」と述べておられます。まちづくりは行政だけで進めるのではなく市民一人一人が関心を持ち、自分事として参加していくことが重要です。

市長が変わった今こそ市民が関心を持ち自分事として行政とともに新しい高島市を作っていくかなければなりません。

新しく生まれ変わった高島市となるために、透明性のある市政運営と納得いく市民説明と政策決定を求めたいと思います。

そこで以下のことにについて伺います。

- ①行政の政策に関して、市民や地域住民の声を十分に反映させていくために、どのように考えておられるのか伺います。
- ②市民が自分事として行政に関わるための具体的な取り組みや、市民参加の仕組みについて伺います。
- ③高島市はパブリックコメント制度を採用されていますが、パブリックコメントの市民への周知はどのようにされているでしょうか。
- ④パブリックコメントの実施期間はどのようにになっているのか。